

## 第73回卒業証書授与式 校長式辞

令和3年2月28日

ここ、上野が丘にも、早春の息吹が満ち始めたこの頃です。コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは少し違う形になりましたが、本日ここに、兵庫県立神戸高等学校第七十三回卒業証書授与式を挙行できますことを、うれしく思います。

これも、保護者の皆さまに、教室において映像で講堂の様子をご覧いただくなど、多くの方々からご理解とご協力を賜ったおかげと、心より感謝申し上げます。まことにありがとうございました。

さて、ただ今、蛍雪の功なり、卒業証書を手にした三百五十二名の皆さん、卒業おめでとう。皆さんのこれまでの努力と研鑽に、心より敬意を表します。皆さんは、人生の中で最も多感な高校時代を、ここ神戸高校で過ごし、心身共に、大きく、そして逞しく成長しました。

神戸高校は全人教育を標榜しています。ですから皆さんは、三年間、勉強だけでなく、様々な多くの学校行事、部活動、自治会活動等に、全力で取り組んできました。他の高校では決して経験できない、濃密な高校生活であったはずです。また、夢や希望を思い描き、一方では、悩みや挫折も経験してきたことと思います。そうした中で、生涯の友となる友人に出会えた人もいるでしょう。

そして、この一年間は、長期にわたり学校が休校になるなど、これまでの学校生活とは全く異なる生活様式が強いられました。しかし、君たちは、多くの制約がある中で、やりたいことがやれない状況が次々と生じてくる中で、持ち前の底力を見事に発揮していきました。限られた時間であっても、その時間を精一杯活用できる集中力、自己実現を目指す志、そして、そのために努力し続けられる根性を見せてくれました。こんなに素晴らしい君たちと共に学校生活を送ることができたことは、私にとって大きな幸せであり、誇りでもあります。君たちは、私たち教職員の自慢の生徒であります。

ところで、人生の目的とは何か。私は、人類に貢献することだと思っています。だから、人の役に立っていると思ったとき人は喜びを感じ、人類の一員である自分を磨き高めていると思うとき、充実感を持つのだと思います。違う言葉で表現するならば、社会貢献と自己実現です。

これから皆さんが活躍していく社会は、AIやIoT等のめざましい進歩によるSociety 5.0と呼ばれる超スマート社会です。未来の姿を予測することが極めて困難な時代を迎えています。

また、昨今の社会情勢を見てみると、毎年起こる地震や豪雨などの自然災害、待ったなしのエネルギーや環境の問題、また、少子高齢化の問題など、知識だけでは答えが見つからない難しい課題が山積しています。コロナウイルスとの戦いも、残念ながらまだ終わってはいません。

このように進むべき先が見えにくい時代にあって、皆さんには、人々の先頭に立って

藪をかき分けながら進む人のように、未来への道を切り拓き、自分のための、そして自分の後に続く人々のための道を作っていく人になって欲しいと思います。

皆さんは、そのための底力を、この神戸高校で培ってきました。そしてこれから、社会において、この底力を発揮するためには、皆さんが三年間日々接した、四綱領を実践し続けることが大切です。

「質素剛健」は、真面目で実直、勇気あることです。「自重自治」は、自らの使命を重んじ、品性を保ち、自らが定めたことによって自らの行為を律することです。

「質素剛健」「自重自治」。実直で勇気があり、品性を保ちながら自らの使命を重んじる生きざまが、自らを高め、人々を惹きつけるのです。皆さんには、是非そういう生きざまを積み重ね、社会貢献と自己実現を果たして欲しいと願っています。

さて、教室でご覧いたいております保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。大切なお子さまをお預かりし、本校職員一同、至らないところもあったかもしれませんが、心の限りにお子さまの成長のために努めてまいりました。この間、本校の教育方針にご理解を賜り、本校にお寄せいただいたご厚情とご支援に対しまして、職員を代表いたしまして、心からお礼申し上げます。

また、ご多忙中にも関わりませず、同窓会長様、PTA会長様には、多くのご来賓の代表としてご臨席を賜りました。衷心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、卒業生の皆さん、私は、神戸高校校歌は全国のどこの高校にも負けない素晴らしい校歌だと思っています。ところが、今年度は一度も校歌を歌う機会を作れませんでした。とても残念なことであり、君たちに対して申し訳なく思っています。

神戸高校で、仲間とともに歌い続けた校歌を、一緒に歌ったその場面を、いつまでも大切にしていってください。

わこうどは うたごえを みそらにみてよ  
きみみずや 人生のはじめにおいて  
わがともと きざむいのちの ときどきを  
歴史のいとにあざないて  
とうとからずや われらあり

君たちの誇らしい青春は、この神戸高校の歴史に刻まれました。

卒業生の皆さん、いよいよ凶南鵬翼、旅立ちのときです。

春蘭の気品と楠のたくましさを持つ、三百五十二羽の鵬雛は今日、鵬となり、春風に乗って、高き学び舎から、未来へ羽ばたいていこうとしています。

一人一人の未来が、光り輝くものとなることを心からお祈りし、式辞といたします。